

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

長引くコロナ禍であり行動制限を伴う緊張感のある新年をお迎えのことと存じます。

いつも大谷翔平選手との語呂合わせ「SYOHEI（招聘）ニュース」を楽しみにお読み頂き、奥州市の様子をご理解いただいていることと思います。

昨年は通常医療に加えてコロナ医療に全職種が病院を挙げて尽力し存在感を高めました。そんななか大谷選手の活躍が疲れをやらせてくれました。奥州市民もかつてない盛り上がりとなりました。今年もさらに活躍されることを願っております。

昨年話題からもう一つ NHK 大河ドラマ「青天を衝け」の主人公（2024 年から新一万円札の顔となる人物）渋沢栄一です。

渋沢は幕府側でしたが、フランス留学中に明治維新となり、帰国後は江戸時代の社会経済システムを改革し、「日本資本主義の父」と呼ばれるまでになりました。それと同じく「思いやりの道」として福祉にも貢献しました。

今同じように期待される人は、医師不足の地域で医療に携わる医師です。

ご存じのとおり奥州市医療局では医師不足を解消するために奨学金制度を設け、現在医学部で勉強中の学生、医師免許を取得し研修中の先生、そして医療局で義務履行中の先生とうまくシステムが回り始めています。

よりよい医療を学ぶために自由に研修できる環境も整えております。医療局の医師及びスタッフは、皆さんと一緒に働く日を待ち望んでいます。

奥州市病院事業管理者

岩村 正明



岩手県内の新型コロナウイルス感染の状況

県内の陽性者は、1月26日現在で4,065人（死亡53人）です。12月下旬に県内でもオミクロン株が確認され、1月上旬には市中感染も確認されたことから、1月8日に岩手警戒宣言、1月23日に岩手緊急事態宣言が発令されるなど、県内でも感染者が急増中です。

岩手県内の月別コロナ患者数（令和4年1月26日現在）

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
0	3	16	4	4	167	191	111	58	67	291	530	237	323	1002	475	7	1	3	575

奥州ブランド：米（江刺金札米・奥州米ほか）

黄金の大地 特Aランク23回獲得

奥州市の農業の特徴は、米、畜産、野菜のすべてがバランスよく生産されていることです。とくに畜産が盛んということは土づくりには大変有利なことであり、当市では田んぼに有機質をふんだんに投入し、稲わらを牛に食べさせるという循環型農業による米づくりが行われています。

また奥州市の「ひとめぼれ」は、米の全国食味ランキングで



最高位の「特A」を23回獲得しています。

稲作の近代化に伴い、米は機械による乾燥が主流になりましたが、当市では上の写真のような手間のかかる昔ながらの貴重な「天日干し」がまだ行われています。地元農家の方が食べる米は、ほとんどがこの天日干しとも言われています。

さらに、奥州市産米を利用したお酒、焼酎はもちろんのこと、麺やパン、お菓子などの加工品も数多くあります。

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。

令和4年1月27日発行 奥州市医療局医師確保推進室

〒023-0053 奥州市水沢大手町 3-1 TEL0197-25-3833

高野長英記念館

奥州遺産～時を越え受け継がれるもの～No.77 広報おうしゅう平成 29 年 2 月・奥州市HPほか

奥州市水沢出身の高野長英（1804～50 年）は、江戸と長崎で蘭学・医学を学び江戸麹町に塾を開講。医者をしてながら蘭学研究に励んだ。「夢物語」を著したことで幕府批判の罪にとわれ終身刑となるも、獄舎の火事に乗じ脱獄。逃亡しながら医療や著述を続けたが、隠れ家を襲われ自刃し生涯に幕を閉じた。

明治 31 年、功績が認められ明治天皇より「正四位」を授かり、長英が復権を果たすと、本格的な顕彰活動が始まる。高野家 13 代・長運が資料を収集し伝記を刊行すると、14 代・長経を初代会長に昭和 41 年、高野長英顕彰会が設立。同会をはじめ市民からの要望を受け、昭和 46 年に記念館が開館した。



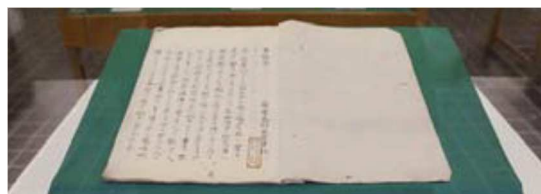
資料を基に長英の生涯を知ることができる展示室

長運が収集したものをはじめ、長英の母が晩年身を寄せた前沢の茂木家からの寄託資料なども保管・展示する高野長英記念館は、長英の軌跡と国の将来を憂いたその思いを今に伝えている。



椿椿山筆 高野長英画像 重要文化財

椿椿山が高野長英を描いた肖像画。長英の精神面を表したものとされている。椿椿山は谷文晁、渡辺華山に絵を学び、花鳥画、肖像画の分野に優れた作品を多く残した。なお、高野長英像など国指定重要文化財「高野長英関係資料」は、長英の命日（10 月 30 日）の前後約 1 カ月間のみ公開（常設展示は複製・複写）



外国への対応を論じた「夢物語」の写本



獄中から従弟の茂木恭一郎に宛てた「獄中角筆漢詩」の複製



奥州市公式ホームページ 観光スポット：博物館・記念館：「高野長英記念館」より

蘭方医高野長英は、わが国最初の生理学書「医原枢要」や「泰西地震説」「二物考」などの著述も多く、高野長英記念館では、訳書、著書、手紙および遺品など約 200 点を展示しています。また、5 月 5 日には高野長英誕生祭、10 月 30 日には高野長英祭が行われ、記念館を無料で公開しています。市内には長英の旧宅や菩提寺などがあり、長英ゆかりの遺跡を見学できます。

『勸農備荒 二物考』 高野長英 原書 天保 7(1836) 年

長英は、天保の凶作に際して、庶民の窮乏を救うため、早ソバと馬鈴薯（じゃがいも）の栽培をすすめ、又、「避疫要法」を著わし、悪病の流行から民衆を救うべく努力した。長英の学問の態度を表したものと言える。

『夢物語』 高野長英 原著書 天保 9(1838) 年

『夢物語』は、日本漂流民を乗せて渡来したアメリカ船モリソン号をめぐる幕府の対外政策を批判した長英の著作である。長英は、イギリスの国力について具体的なデータをあげて説明し、同国の勢力が日本近海の島々におよんでいる事実をあきらかにする。そして、モリソン号が漂流民の送還を口実に人道の名をかかげて渡来した場合、これに打払いをもってのぞんだら、イギリスは日本を「不仁の国」とみなすであろう、と打払いに反対し、モリソン号の入港を認め、漂流民をうけとった上で、交易の要求は拒絶すべきであると主張する。このような長英の意見が問答形式で記されており、夢の中の集会で見聞した話という体裁をとることで幕政批判の罪を逃れようとしたが、夢物語は写本としてかなり流布し、社会的反響をよんだ。これが原因となり、長英は蛮社の獄で幕府に捕らえられ、永牢の身となった。

奥州市立高野長英記念館 〒023-0857 岩手県奥州市水沢中上野町 1 番 9 号【水沢公園内にあります】
TEL：0197-23-6034 E-mail takanochoei@city.oshu.iwate.jp 入館料 大人 200 円